



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミマキエンジニアリング

コード番号 6638 URL <http://www.mimaki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小林 久之

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 三宅 洋

TEL 0268-64-2281

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日

配当支払開始予定日

平成27年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	24,001	7.9	1,597	△39.0	1,367	△42.5	811	△48.2
27年3月期第2四半期	22,235	17.2	2,617	77.2	2,380	281.9	1,566	—

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 403百万円 (△76.6%) 27年3月期第2四半期 1,721百万円 (281.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	25.89	—
27年3月期第2四半期	58.28	57.86

(注)当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	43,056	15,411	35.8
27年3月期	43,479	15,193	34.9

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 15,411百万円 27年3月期 15,189百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.50	—	12.50	20.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,400	5.9	3,150	△29.9	2,800	△25.4	1,850	△26.7	59.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) MIMAKI INDIA PRIVATE LIMITED 、 除外 1社 (社名) 株式会社ウイズテック

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	32,040,000 株	27年3月期	32,040,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	679,790 株	27年3月期	745,790 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	31,347,226 株	27年3月期2Q	26,875,267 株
----------	--------------	----------	--------------

(注) 当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、不安定な状況で推移いたしました。米国が金融政策の正常化に向けて利上げのタイミングを模索する都度、新興国通貨が過敏に反応する状況が続きました。中国は、その経済活動が全世界の需要動向に影響を及ぼすにも関わらず、成長率の鈍化が鮮明となりました。欧州においても、依然として財政上や地政学上の不安を抱えており、世界経済全体は今後とも不透明な状況が続くものと思われます。また日本経済は、デフレ脱却の実感は乏しいものの、政府の金融政策や経済対策を背景とした内需の回復や雇用環境の改善等により穏やかな回復基調が継続しております。

このような状況の中、当社グループは“M500総仕上げ”をスローガンに掲げ、連結売上高500億円を中期目標とする“M500プロジェクト”の3年目となる当連結会計年度において、持続的成長のための基盤強化に取り組むとともに、お客様のオンデマンド・ビジネスをサポートするための施策を積極的に展開いたしました。

具体的施策としまして、SG(サイングラフィックス)市場向けでは、前連結会計年度に発売したJV300シリーズ等の主力製品の世界的なプロモーションを継続展開したほか、大きな看板の製作需要がより旺盛な海外市場を主な販売ターゲットに据えた、3.2M幅の大型UV硬化インクジェットプリンタSIJ-320UVを平成27年4月に発売いたしました。IP(インダストリアルプロダクツ)市場向けでは、世界的に拡大しているデジタル・オンデマンド生産の需要に対し、機能・価格・プリントサイズ等、お客様の多様なニーズに応える豊富なラインナップで独自の付加価値を提案し、積極販売に取り組みました。また、TA(テキスタイル・アパレル)市場向けでは、新型ヘッドを搭載してプリント速度をさらに高めたエントリーモデルの昇華転写インクジェットプリンタTS300P-1800を平成27年7月に発売し、マーケットシェアの拡大に努めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は240億1百万円(前年同期比7.9%増)となりました。利益面では、一部部材が値上がりしたことや生産調整を行ったことで売上原価率が前年同期に比べて4.2ポイント上昇し、人件費や研究開発費等が増加して販売費及び一般管理費の売上高比率が0.9ポイント上昇したこと等により、営業利益は15億97百万円(同39.0%減)、経常利益は13億67百万円(同42.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億11百万円(同48.2%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、当社グループの組織管理体制の見直しに伴い、第1四半期連結会計期間より、「日本」と「アジア・オセアニア」を「日本・アジア・オセアニア」に、「北米」と「中南米」を「北・中南米」に統合しております。また、従来の「欧州」の名称を「欧州・中東・アフリカ」に変更しており、以下の前年同期比較につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。セグメントの利益につきましては、セグメント間取引消去の影響により四半期連結損益計算書の営業利益から乖離してしまうため、記載を省略しております。

#### (日本・アジア・オセアニア)

日本国内におきましては、JV300シリーズ等のSG市場向けの主力製品が販売台数を伸ばし、IP、TA市場向けの各製品も堅調に推移したこと等により、前年同期の売上高を上回りました。アジア・オセアニア地域におきましては、SG市場向けのJV300、JV150シリーズ等の主力製品及びIP市場向けの小型機種が好調に推移したこと等により、前年同期の売上高を大きく上回りました。この結果、外部顧客に対する売上高は110億18百万円(前年同期比19.8%増)となりました。

#### (北・中南米)

北米地域におきましては、アメリカ国内での販売強化を課題として認識しており、ミニ展(※)によるお客様との距離感を縮めたプロモーション展開や販売チャネルの改革を推し進めております。SG市場向けが伸び悩んだものの、大型機種JFX200-2513を中心にIP市場向けが好調に推移したことに加え、円安による円換算額の増加もあり、前年同期の売上高を上回りました。中南米地域におきましては、主にブラジルでSG市場向け、TA市場向けが落ち込んだこと等により、前年同期の売上高を下回りました。この結果、外部顧客に対する売上高は52億45百万円(同2.2%増)となりました。

(※) お客様を招いて開催する小規模なプライベート展示会のこと

#### (欧州・中東・アフリカ)

欧州地域におきましては、SG市場向けではCJV300、CJV150シリーズ等の主力製品が販売台数を伸ばし、IP市場向けでも小型機種UJF-3042HG、UJF-6042及び大型機種のJFX200-2513が順調に推移したものの、TA市場向けの上位機種が落ち込んだことに加え、円高による円換算額の減少が逆風となり、前年同期の売上高を下回りました。中東・アフリカ地域におきましては、JV150シリーズ等のSG市場向けの主力製品、UJF-3042HG等のIP市場向けの小型機種が堅調に推移し、前年同期の売上高を上回りました。この結果、外部顧客に対する売上高は77億37百万円(同2.1%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間における機種群別の売上高は以下のとおりであります。

	売上高(千円)	構成比率(%)	対前期増減率(%)
SG市場向け	12,172,833	50.7	7.0
IP市場向け	6,991,579	29.1	24.8
TA市場向け	2,501,216	10.4	△18.7
保守部品	1,650,857	6.9	7.8
その他	684,805	2.9	5.9
合計	24,001,292	100.0	7.9

また、当第2四半期連結累計期間における品目別の売上高は以下のとおりであります。

	売上高(千円)	構成比率(%)	対前期増減率(%)
製品本体	12,587,194	52.4	6.3
インク	7,817,222	32.6	10.5
保守部品	1,650,857	6.9	7.8
その他	1,946,018	8.1	8.8
合計	24,001,292	100.0	7.9

**(SG市場向け)**

JV300シリーズ等の主力製品が堅調な売れ行きで推移したこと等により、売上高は121億72百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

**(IP市場向け)**

主力の小型機種UJF-3042HG、UJF-6042が好調な売れ行きで推移し、大型機種についてもJFX200-2513が小型機種に並ぶ主力製品に成長して販売台数を伸ばしたこと等により、売上高は69億91百万円(同24.8%増)となりました。

**(TA市場向け)**

既存機種のTS34-1800A及び新製品のTS300P-1800によりエントリー機種は堅調に推移したものの、上位機種が欧州地域を中心に落ち込んだこと等により、売上高は25億1百万円(同18.7%減)となりました。

**(保守部品)**

製品本体の販売台数を伸ばしたこと等に伴い、売上高は16億50百万円(同7.8%増)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月12日に公表した業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日平成27年11月10日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、MIMAKI INDIA PRIVATE LIMITED は重要性が増したため、連結の範囲に含め、また、株式会社ウィズテックは当社を存続会社とする吸収合併により解散したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表

に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,037,514	7,110,988
受取手形及び売掛金	7,726,316	7,390,525
商品及び製品	12,034,781	11,625,098
仕掛品	412,930	347,580
原材料及び貯蔵品	3,748,966	3,319,737
繰延税金資産	1,384,295	1,317,410
その他	1,575,588	1,628,799
貸倒引当金	△148,443	△117,718
流動資産合計	33,771,949	32,622,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,678,844	2,843,118
土地	2,872,063	2,876,214
その他(純額)	2,584,959	3,212,556
有形固定資産合計	8,135,866	8,931,889
無形固定資産		
その他	291,891	309,101
無形固定資産合計	291,891	309,101
投資その他の資産		
繰延税金資産	278,412	250,544
その他	1,145,931	1,071,964
貸倒引当金	△144,436	△129,426
投資その他の資産合計	1,279,907	1,193,082
固定資産合計	9,707,666	10,434,073
資産合計	43,479,615	43,056,497
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,535,173	6,125,246
短期借入金	6,157,523	6,811,173
1年内返済予定の長期借入金	2,151,492	2,547,282
未払法人税等	800,896	474,221
賞与引当金	745,478	701,213
役員賞与引当金	55,360	20,752
製品保証引当金	448,649	406,728
その他	3,869,710	3,499,583
流動負債合計	21,764,284	20,586,200
固定負債		
長期借入金	5,910,248	6,394,586
リース債務	167,698	185,806
繰延税金負債	29,780	29,708
退職給付に係る負債	254,318	263,802
資産除去債務	19,841	50,233
その他	140,222	135,077
固定負債合計	6,522,109	7,059,213
負債合計	28,286,394	27,645,413

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,357,456	4,357,456
資本剰余金	4,266,585	4,269,686
利益剰余金	6,524,218	7,140,082
自己株式	△124,759	△113,723
株主資本合計	15,023,500	15,653,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,665	11,253
為替換算調整勘定	102,192	△298,391
退職給付に係る調整累計額	51,139	44,719
その他の包括利益累計額合計	165,997	△242,418
新株予約権	3,724	-
純資産合計	15,193,221	15,411,083
負債純資産合計	43,479,615	43,056,497



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	22,235,402	24,001,292
売上原価	10,975,799	12,857,454
売上総利益	11,259,603	11,143,837
販売費及び一般管理費	8,642,235	9,546,341
営業利益	2,617,367	1,597,496
営業外収益		
受取利息	7,753	13,660
受取配当金	2,685	504
受取保険金	71,891	9,346
保険返戻金	-	22,002
貸倒引当金戻入額	-	25,759
その他	29,127	17,095
営業外収益合計	111,457	88,367
営業外費用		
支払利息	55,271	58,473
売上割引	54,272	53,216
為替差損	194,229	136,947
持分法による投資損失	37,997	44,683
その他	6,456	24,589
営業外費用合計	348,226	317,909
経常利益	2,380,598	1,367,954
特別利益		
固定資産売却益	2,439	12,762
新株予約権戻入益	425	212
特別利益合計	2,865	12,975
特別損失		
固定資産売却損	3,103	742
特別損失合計	3,103	742
税金等調整前四半期純利益	2,380,360	1,380,187
法人税、住民税及び事業税	764,259	470,514
法人税等調整額	49,879	98,220
法人税等合計	814,138	568,734
四半期純利益	1,566,221	811,452
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,566,221	811,452

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	1,566,221	811,452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,463	△1,411
為替換算調整勘定	167,267	△423,296
持分法適用会社に対する持分相当額	△11,705	22,712
退職給付に係る調整額	△2,812	△6,419
その他の包括利益合計	155,212	△408,415
四半期包括利益	1,721,433	403,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,721,433	403,037

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。